

# 一般会計で約7,737億円の 平成12年度当初予算案を可決

— 教育改革問題や芦浜原子力発電所計画などについて活発な論議 —

平成12年第1回定例会は、2月22日から3月21日まで、29日間の日程で開催されました。

今回の定例会では、知事から提出された「平成12年度三重県一般会計予算」ほか110件の議案と、議員が提出した「三重県生活創造圏ビジョン推進条例案」「三重県議会議員の定数に関する条例及び三重県議会議員の選挙区および各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例案」など3件が審議されました。

22日の開会日には、平成10年度三重県歳入歳出決算認定議案の採決が行われ、認定しないことに決まりました。引き続き上程された議案の提案説明が行われた後、知事から芦浜原子力発電所計画に対する見解についての発言がありました。

29日には各会派の代表による代表質問が行われました。2日、6日、9日には、各議員からの一般質問が行われ、13人の議員が質問に立ちました。

13、14、15日には常任委員会が開催され、議案と請願の審査が行われました。また、総合エネルギー対策、行政改革調査、選挙区調査特別委員会も開催されました。

最終日の21日には、113件の議案が原案どおり可決されました。また、請願6件のうち、4件が採択、1件が不採択、1件が継続審査とされた後、意見書案8件が原案どおり可決され、閉会しました。

## 代表質問

### 自由民主党

#### 平成12年度県政運営方針

中川 正美 議員  
(伊勢市選出)

**問** 今年は2000年という、20世紀最後の大きな節目の年です。

本県では、さまざまな改革の取組を進めていますが、これは21世紀のあるべき姿をめざす取組を先取りするものとして高く評価します。

県では、「三重のくにつくり宣言」に基づき県行政を計画的に推進するため、平成9年度から13年度までの5年間の主要な事業を示した第1次実施計画により、各種の事業を推進されていますが、計画期間の半ばを過ぎ、今までの事業の総括や第2次実施計画の策定に向けて準備にかかる必要があるのではないかと思います。

そこで、そのスケジュールと、平成12年度にどのようなことを行うのか具体的にお聞きします。

**答** 第2次実施計画の策定スケジュールとしては、平成14年度予算に反映させるため、平成13年度の秋までに骨子をまとめたいと考えています。

このため平成12年度から第2次実施計画の策定に着手

し、880の数値目標の見直しと、事務事業評価システム等と連動した新しい政策システムの検討、財政フレームの検討などの作業に取り組むこととしています。

なお、計画の策定にあたっては、「大きな歴史の転換点」という認識に立ち三重県を取り巻く諸情勢も十分踏まえた計画となるよう努めたいと思います。

#### ●その他の質問事項

- ・伊勢湾口道路
- ・明日を担う産業振興

他

### 県政会

#### 平成12年度重点施策

金森 正 議員  
(四日市市選出)

**問** 本県の景気対策は積極的に推進され、結果として県債が大きく膨らんだことでその見方は別れるとは思いますが、非常に高く評価しております。

本県の財政水準は全国レベルの中位に位置するといわれていますが、中身は非常に厳しいものがあります。景気低迷が、本県の財政指針を根底から揺さぶった経緯もあり、平成12年度予算をみても、厳しさが実証されています。そこで、早めの健全化計画の策定が必要だと思えます。今後の避けて通れない公債費の増加もあり、平成13年度の予算づくりはきりつめた予算になることはほぼ間違いないよう

に思います。

こうした状況から、本県の財政健全化は喫緊の課題として取り組んでいただきたいと思います、所見を伺います。

**答** 中期的に大変厳しい財政運営が予想されるため、平成12年度予算編成では、早い時期からスプリング・レビューに取り組み、行財政の体質改善を図ってきました。

今後、総合計画の数値目標、予算編成、事業執行、事務事業評価システムのプラン・ドゥー・シーを適切に回していくことにより、数値目標の達成と効率的な財政運営の両立を図っていきたいと考えています。

●その他の質問事項

- ・教育改革
- ・本県の電源立地対策

他

県民連合

地方分権

上野 一人 議員  
(久居市選出)

**問** いわゆる地方分権一括法が成立し、住民に身近な行政はできるかぎり地方公共団体に委ねることを基本とし、地方の自主性及び自立性を十分に発揮できるようにしなければなりません。

市町村は独立した自治体であり、その意思を尊重するのは当然のことですが、住民の利益を考え、市町村に適切なアドバイスをするのも県の重要な役割です。

近年、国は合併特例法を改正し、市町村合併を推進しようとしています。

そこで、本県の市町村合併への取組の進み具合、意気込みなどについてお聞きます。

**答** 市町村の合併については、地域において十分な議論を尽くすことが不可欠であることから、県としては、市町村に対し必要な情報の提供や助言を行っていきたくと考えています。

そのため、「市町村の合併の推進についての要綱」を策定することとし、県、市町村長の代表者及び学識経験者で構成する委員会を設置し、検討を行っているところです。

また、アンケート調査や懇話会等により、各地域、各方面からの意見を広く聴取するとともに、合併に関する活発な議論の場を創出していきたくと考えています。

●その他の質問事項

- ・治安行政
- ・公共用地の取得

他



一般質問

教育改革

橋川 隼也 議員  
(自由民主党議員団・度会郡選出)

**問** 議会における論議や教育委員会が実施した調査によると、子供たちにルールを守れという学校現場が、悪しき慣行に従ってルールを守らない、また、教育委員会が当然行うべき指導力向上のための研修も職員組合に頼り、人事への介入まで許してきた実態が明らかになりました。このことを教育委員会としてどのように感じているのでしょうか。

教師がルールを守り、自らを律しなければ、必ず子供達に矛盾を見抜かれ、教師の権威を失墜させてしまいます。21世紀に向かって、県民とともに協働で三重の教育を立ち上げることが必要です。

今後、本県の教育をどのように改革していこうとしているのか、所見を伺います。

**答** 児童生徒を中心とする学習者起点の教育の実現に向けて、特に教職員の意識改革を図り、開かれた学校づくりを進めていかなければならないと考えています。そのためにも、各学校が前例踏襲、横並び意識をなくし、特色ある学校づくりを進める改革に全力で取り組んでいく決意です。

●その他の質問事項

- ・国旗国歌の実施状況
- ・私学と公立の募集定員比率

他

芦浜原発問題

櫻井 義之 議員  
(県政会・亀山市・鈴鹿郡選出)

**問** 開会日に、知事が、芦浜原発計画問題に対する意志を表明されました。20世紀の本県が積み残してきた重要課題を総括され、新しい第一歩を踏み出すべく、勇気あるリセットボタンを押されたこの政治判断に心から敬意を表します。

しかしながら、問題は、今後のあるべき姿に向かって、現実的な解決策をもってどう実行に移すかにあります。知事は、この問題が長きにわたったことについて、県にも責任の一端があると表明されましたが、県の責任とは何なののでしょうか。また、37年間でどのような教訓を得たのか、



芦浜